殺傷血の如き安治川 發電所前の修羅場

千五百の大勢正門突破を企て 警官人夫國粹團と死戰を續く

危篤三名負傷十餘

十四日夜演說會の崩れより端なくも警官隊との間に大衝突を來して流血の慘事を見たる大電龍工團に對する勞働團の同情は一倍を加へ關西勞働組合會、友愛會等の聲援と得て十五日午前十一時阪急電車東淀川停留場下の廣原に聯合勞働大連盟會を開き

氣勢を

揚げたる事は夕刊所報の如くなるが右團體は午後三時過ぎ更に中ノ島に勢揃ひして示威運動に移り私服の警官隊及民衆を加へて其數二千名船津橋まで進めるや光重隊は左折して安治川發電所を襲はんと企て群衆中一兩名の極力制止するをも肯かぼに其筋中現業員組合の

一隊は

安治川へ〳〵と絶叫しつゝ同發電所を目掛けて突進し他の勞働團體亦一齊に流れを換へ大喊聲を揚げつゝ駈け足で安治川發電所へと殺到し一氣に嚴重なる警戒網を破いて正門を突破し所内闖入を試みしも三百の警官隊は死力を盡して之を阻止すると共に大電側人夫も勞働團に當り茲に忽ち大亂闘の

修羅場

と變じ警官と勞働者は血相凄しく互に縺り合ひ叫喚渦を卷くの光景夕陽の下に凄惨を極め遂に勞働者側及警官中の重傷者多數を出すに至り中五六名は生命危殆に陥る林混雜名狀すべからず檢束されし者亦十四五名を下らず巡査も逆上して殆ど狂ひとなれり、尚此亂闘に際し

友愛會

大阪支部主事西尾末廣氏は安治川發電所正門前に於て警官に引致されしが同發電所は正門の奥に更に頑丈なる防禦門を急造し多數の國粹會員を伏せ勞働團に備へし爲め一層勞働者の昂奮して忽ち福島署長の中止を喰ひ藤岡神戸友愛會主事や鐵友會赤松中止を喰つたので屋上に飛上つた西尾氏が最後に悲痛の聲を振り絞つて解散を宣した、而も一同は八時近く新川倶樂部の演說會場と向つた

解散

一旦引揚げた示威行列隊は友愛會支部前街路に集合盛んに勞働歌を高唱し警官二百名の解散命令をも承知せず急造演壇に登つた環放された前の西尾氏は警官横暴を攻撃して忽ち福島署長の中止を喰ひ藤岡神戸友愛會主事や鐵友會赤松中止を喰つたので屋上に飛上つた西尾氏が最後に悲痛の聲を振り絞つて解散を宣した、而も一同は八時近く新川倶樂部の演說會場と向つた

無殘極まる負傷者

眼球飛出し 全身腫脹

昨夜出動の警官 二千五百名

亂闘の原因は職工を袋叩きの巡査の横暴

昨夜安治川發電所門前の衝突原因は門内に闖入せんとした群衆の先頭を三警官が袋叩きにされた事から始まる、勞働團が押立てた數箇の會旗及示威的

警察部長 急遽歸阪

賀川荒畑氏等も來阪協議中

大電龍工團の惡化の急報に接せる東上中の田中大阪府警察部長は十五日午後八時半大阪驛着列車で急遽歸阪し善後策講究の爲直に官舍に入つた伺賀川警部彦氏も急ぎ聞て直に友愛會支部を訪問し同日東京の社會主義者荒畑寒村氏も來て會場で幹部會を開き檢束者の解放や負傷者見舞の爲奔走を始めた